

忘れてはならない名作映画上映会

今年の“忘れてはならない名作映画会”は、来年 戦後75年を迎える私たちが“あの日”をいつまでも忘れないために…2016年に制作され反響を呼んだ『いしぶみ』を上映いたします。昨年のカンヌ国際映画祭で最高賞を受賞の是枝裕和監督が、広島県出身の女優 綾瀬はるか・ジャーナリスト 池上彰と1945年8月6日の旧制・広島二中1年生の321人の体験を追う。



©広島テレビ

文部科学省特別選定

いしぶみ

監督 是枝裕和

出演 綾瀬はるか 池上彰

(2016年/日本/85分)



2019.8.30 (FRI) 阿倍野区民センター 小ホール (地下1階)

主催 (株)大阪映画センター (06-6719-2233) / 協力 ㈱ビケンテクノ (06-4398-9877)



本作を貫いているのは、
悲しみではなく怒りです。

是枝裕和

この夏「いしぶみ」をご覧頂いて、
一人でも多く平和への強い思いが芽吹く
きっかけにならなると願っています。

綾瀬はるか

八月六日が何の日か、
答えられない日本の子どもたちも多い現代において、
願わくば、この深く静かな悲しみが、
若い人たちに、そして世界の人に伝わりますように。

池上彰

碑に刻まれた旧制・広島二中の一年生321人 幼くしてこの世を去った彼らが最期に残した言葉とは――

昭和20年8月6日は、朝から暑い夏の日でした。この日、広島二中の一年生は、建物解体作業のため、朝早くから本川の土手に集まっていた。端から、1、2、3、4、…と点呼を終えたその時でした。500メートル先の上空で爆発した原子爆弾が彼らの未来を一瞬にして奪ったのです。少年たちは、元気だった最後の瞬間、落ちてくる原子爆弾を見つめていました。あの日、少年たちに何が起こったのでしょうか…。



映画監督・是枝裕和 × 女優・綾瀬はるかによる新しい朗読劇 失われゆく戦争の記憶が語り継がれる。

昭和44年(1969年)に広島テレビで放送された「碑」(いしぶみ)。名女優・杉村春子を語り部として制作されたこの作品は、多くの人々の心を震わせ、芸術祭優秀賞やギャラクシー賞などを受賞しました。そして戦後70周年を機に、この不朽の名作が現代によみがえります。監督は、『そして父になる』でカンヌ国際映画祭審査員賞をはじめ数々の賞に輝いた是枝裕和。語り部には、広島市出身の女優・綾瀬はるか挑みます。『海街diary』に続き、是枝監督とタッグを組む彼女が、「遺族の手記」を切々と、静かに読み上げます。本作の舞台を手がけるのは、劇団☆新感線や野田秀樹氏、三谷幸喜氏など、第一線で活躍する演出家の舞台美術を手がけている堀尾幸男。想像力を掻き立てる舞台セットが朗読を引き立てます。そして、ジャーナリストの池上彰が遺族やその関係者へのインタビューを通して、70年を経てなお残る「物語」の続きを伝えます。



書籍情報

ポプラポケット文庫
いしぶみ
広島二中一年生全滅の記録
原爆で、一人残らず若き命を奪
とした、ある中学校の1年生たち
の克明な記録。40年以上読み
継がれてきたロングセラー。

定価:本体570円(税別)

ishibumi.jp @ishibumimovie fb.com/ishibumi2016

2019.8.30(金)

- ① 10:30~11:55
- ② 12:30~13:55
- ③ 14:30~15:55

阿倍野区民センター
小ホール(地下1階)

〒545-0052
大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118

- 地下鉄谷町線「阿倍野」16番出口反対側すぐ
- 阪堺上町線「阿倍野」下車徒歩2分



こちらのチラシご持参で3名様まで
会員価格でご鑑賞頂けます！

※1回目の上映時間及びプログラムの組み方が
変わりました。ご注意ください。

料金
会員料金 800円
当日料金 900円

※前売券の販売はございません
(シニア割引・障害者割引なし)

● お問合せ ●
大阪映画センター TEL 06-6719-2233